

# 明るい生活は よい電気設備で

昭和五十四年度「全国電気設備安全運動」は全日電工連新聞にて既報のとおり十月一日から一カ月間、三重県電気工業協業組合と三重県電気工事協力が中心となつて県下全域にわたつて展開される。

この運動も第七回を迎え各組合員の協力により県民一般から感謝されており、定着した事業であり本年もなお一層の成果が期待されている。

需要家の関心の高まった現在、一層の電気保安を許えるチャンスとして本年度は特に各需要家を訪問し、「需要家サービス訪問記録表」を作成し内容の充実を図ることとしている。



53年度の安全運動

## 『全国電気設備安全運動』

### はじまる

これは一組合員が需要家三件（施工後五年以上）を運動期間中全員が訪問し特に絶縁抵抗や接地抵抗を測定、併せて漏電しゃ断器の設置や、保守管理業務の委託についてもPR、記録表

この成果を一部需要家へ渡し、一般需要家の電気に対する認識を高め電気設備に対する保守管理の必要性など電気安全を広く訴えるものである。

各支部、地区では本運動

### 第二次

## 『保守技術員』認定

### される

共同保守管理業務開始以来はや二年を経過しているが最近やゝ低調であるためこの推進策の一つとして認定有資格者の増加をはかりうと名古屋通産局に特別お願いし第二次認定講習会開催となつたものでつぎのとおり実施された。

8/2 津会場 二一名  
8/3 四日市会場 四五名  
8/7 松阪会場 二九名  
8/8 伊勢会場 四一名

各会場に名古屋通産局係官が出席され事業法に基づく説明、最近の事故例など細部の注意があり引続き事務局から共同保守管理業務の目的および業務内容の説明スライドによる解説を熱心に受講され晴れて認定証交付の有資格者となり明日からの業務推進の一費を担うこととなった。

今回の認定講習会によつて登録済認定有資格者は、七四八組合員で、九八二名の保守技術員となり、この有資格者一人一件の契約を實現するとすれば大きな成果が期待される。

(事務局)



三重県電気工業協業組合  
三重県電気工事協業組合  
発行人 繁田 助  
編集責任 広報委員会

### 主な目次

全国電気設備安全運動	…1
第二次「保守技術員」認定	…1
各地で好評な積算講習会	…2
組合員名簿の配布について	…2
会員異動のお知らせ	…2
技能オリンピック大会について	…2
経営セミナーに参加して	…3
共同保守業務研修報告	…6
厚生委員会だより	…6
各地区だより	…7~8
54年度電気工事士試験	終る…8

「つぎの講習会はいっ！」

各地区で好評な積算講習会

経営の近代化が叫ばれ、技術営業の拡大が重視されている現在、電気工事費についてはの価格交渉の厳しさが一段と増加している。

このような状況下で従来の「ドンブリ勘定」や勘定による見積りでは信頼性が薄く、また自店の利益はどの位になるのかもつかめず、場合によっては赤字を出す危険さえもある。

こうした問題をなくすためにも積算の重要性を認識し、積算の考え方、計算の方法をより深く学びとら



女性もまじえて熱心な講習会

と積算講習会を経済委員会事業として取りあげ各支部単位に開催した。

講師に全日電工連常務理事、北口三郎氏を迎えつぎのとおり多数の組合員が参加された。

- 7/4 松阪会場 三二名
- 7/5 伊勢会場 三八名
- 7/10 四日市会場九四名
- 7/11 上野会場 八〇名

いずれの会場も午前、午後と受講者一同終日熱心に勉強され、北口講師の豊富な経験による実例など巧みな話術に時間のたつのも忘れる程の充実した迫力ある講習会であった。

中には店主にかわり奥さんの出席もかなり見受けられ、受講者全員が明日からの技術営業拡大への大きな指針を習得できたものと思う。

なお各地区とも一日の講習では物足りないから統編講習会を早くとか、折角の講習会に会場の都合などで出席できなかった地区にもぜひ再計画されたいなどの

うれしい要望が多く寄せられ、担当委員会では、この好評に因應するためさらに二次開催の計画を進めることとしている。

(事務局)

引込および内線工事技能オリンピックについて

昭和54年度の技能オリンピック大会は54・10・4日津電気会館で開催予定で、競技内容はつぎのとおり。

(実技)

○引込線・需給装置・屋内配線に関する工事を組作業により仕上げる。

○柱上作業・昇降柱による安全技能・競技。

○競技時間……二時間

(学科)

○電気工事士として必要な施工技術・技能に直結した問題により参加者全員が競技。

○競技時間……30分

なお三重県大会競技結果

上位二チームが54・10・26日中部電力研修センターで行なわれる中部連合会大会に県代表として出場することになっている。

会員、組合員名簿の

配布について

既報のとおり新名簿作成について整備中でありましたが、みなさまのご協力によりこのほどできあがり各地区を通じ配布いたしました。

今回は会員、組合員に係の深い規約関係と併せて各業者の協賛を得て常時活用できるように集録しました。なお作成にあたり各地区事務局のご協力を得て、できる限り正確を期しましたが、その後発行までの変更事項、ミスプリントなどございましたら事務局までご一報賜りますようお願いいたします。

(事務局)



会員異動のお知らせ

新名簿配布後の会員の異動はつぎのとおりです。今後も本会報を通じてお知らせいたしますので各自の名簿への追記修成についてよろしくお願いします。(事務局)

(昭和54年9月日現在)

地区別	種別	コード番号	商号	代表者	住所	電話	郵便番号	登録・届出申請番号
津	新規加入	31114	昭和電設	田中 一夫	津市高野尾町1459	<0592> (30)0396	514-22	53-53
〃	〃	31115	三幸電気商会	近藤 三男	一志郡香良洲町5980-2	<05929> (2)2373	514-02	52-82
松阪	〃	32135	アツタ電工	熱田 忠	多気郡明和町有爾中 1346-16	<05965> (2)0565	515-03	54-46
〃	〃	32136	黒岩電気工業所	黒岩 恭一	多気郡勢和村朝柄796	<059849> 2849	519-22	54-19
大台	〃	32327	岡島電気工事店	岡島 輝明	度会郡大宮町野原 2810-1	<05988> (5)0598	519-23	53-38
四日市	退会	34036	電研ネオン照明機	山内 ト志	四日市市中町3-18	<0593> (52)5724	510	51-117
〃	〃	34038	山下電機商会	山下 尚	三重県菟野町大字 大領原2894-2	<05939> (3)2263	510-12	51-84

# 中部電気工事業組合連合会 第7回経営セミナーに 参加して

中部電気工事業組合連合会主催による第七回経営セミナーが八月二十三日、二十四日の二日間、愛知県額田郡幸田町の「三河ハイツ」で開催され三重電工組からも理事長始め経済委員の代

表九名が参加した。

第一日は古井マンパワ

ー研究所長の古井君多郎講師による「激動化時代における経営者の自覚」と題する講演があり、昭和48年の

オイルショックを契機として未曾有の大不況時代が到来し無資源国の日本人として、また経営者として、こ

れからの生きる途は「考えること」「アイデアを出すこと」など問題意識をもっ

て経営の革新をすること、そして発想の転換による意識革命をすることを前置き

し引続いて企業目的として「どうすれば企業が生き抜き、儲けることができるか」。そのためには「どの

ような行動をとるべきか」について解説、昨日までのやり方、考え方が正しかったとしても、それが明日以後に通用するという保証はないとして経営者に要求される特性を強調され、最後に、経営者のためのチェックリストとし、つぎの項目が参考として示され、各自で真剣に自己をチェックされ、これからの激動時代を乗り切つてほしいと結ばれた。

## 「経営者のための チェックリスト」

- 1 企業経営に生命がけて取組んでいるか。
- 2 企業を私物化していることはないか。
- 3 社員をパートナーと考えて扱っているか。
- 4 顧客を心から大事だと考えているか。
- 5 会社の将来を考えて後継者育成に努力しているか。
- 6 自己の敵に対抗する勇氣と自己の欠点に抵抗する勇氣をもっているか。
- 7 真に決断力に富んだ人間であるか、特に自己の誤りを認める決断力に富んでいるか。
- 8 自己を偽らず、他人を偽らず、真に誠実な人間になろうと努力しているか。
- 9 経営者の良心をもって、会社の発展・社員の幸福・顧客の満足、社会への奉仕を考えているか。
- 10 自己の能力の限界を知り、その出所進退の時期を充分わきまえているか。
- 11 自己啓発と自己反省を怠っていないか。
- 12 以上のことがお題目や演説や見せかけだけのものか、それともホントのものか、それと異なることができるか。



角谷副理事長の発表

るか。

このように流動する現在の社会情勢に対応する積極的な内容で大いに参考となった。引続いて全日電工連係

崎専務理事を囲んだ懇談会に入り、電気工事業法、電気工事士法などに対する改正への取組み方、考え方、その他共同保守管理業務、政治連盟などについて活発な意見交換を行い第一日目を終了、第二日はつぎのとおり各分科会に分れ熱心な討議を行った。

1、保守管理業務の推進について

(座長) 三重・角谷副理事長)

イ、管理業務の意義

ロ、保守技術員の認識

ハ、推進への問題点

ニ、管理業務のメリット

ホ、今後の運営のあり方

2、電気工事適正価格について

(座長) 愛知・浦野副理事長)

イ、工事価格の現状

ロ、過当競争の防止について

ハ、適正価格の設定

ニ、適正価格の周知と実行

3、政治連盟について

(座長) 岐阜・安田副理事長)

イ、組合員の政治への認識

ロ、加入の現況

ハ、政治力の強化

ニ、業界の改善と政治力

4、組合事業活動について

(座長) 長野・大田副理事長)

イ、組合事業の目的

ロ、組合員の組合利用

ハ、組合事業のメリット

ニ、組合事業のあり方

5、事業分野の拡大について

(座長) 静岡・池戸副理事長)

イ、組合員の現状の考え

ロ、事業分野拡大の業種

ハ、拡大への方途

ニ、拡大へのPRと指導

以上のとおり各分野に亘り参加者全員の英知を結集し時間いっぱい討議し最後に各座長の取まとめ発表を行いました二日間わたる第七回経営セミナーを有意義に終えた。

なお各分科会討議内容は連合会で取まとめることとなつておりますので次号で紹介いたします。

# るのが電気です》

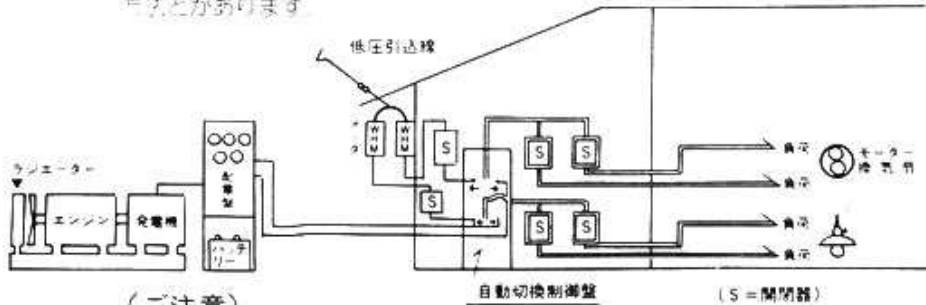
被害防止対策を講じていただくことになっています

社会的影響・人命にかかわる影響が著しいと考えられるもの

その他	公的機関	通信関係	事務所等
 <p>プラスチック加工 ビニール加工、合織 電気炉、メッキ</p>	 <p>病院（外科、産科） 交通信号灯 警察（無線） 水道、ガス</p>	 <p>放送局（サテライト局） 新聞社支局（電送写真） 電話局</p>	 <p>銀行、郵便局、農協金融 窓口、その他事務所 （コンピューター） オンラインシステム ビル（エレベーター）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●加工異常による製品の不良化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●病院 照明の停止 各種医療機器の停止に伴う生命保全機能の停止</li> <li>●交通信号灯 交通渋滞、交通事故の発生</li> <li>●水道・ガス 供給の停止</li> <li>●警察 無線の使用不能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種通信機能の停止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンピューターまたは端末機の停止、金融オンラインシステムの停止などによる窓口業務の全面停止</li> <li>●エレベーターの停止事故の発生</li> </ul>

## ○自家発電装置などの予備電源の設置

常時の電源が止まったときこれに切替えて送電を継続します。  
この場合自動的に切替え出来る装置と手動操作によって発注し切替える方法とがあります。



（ご注意）

自家発電装置を設置する場合は、電気事業法で定める電気主任技術者を選任して、通務庁業局へ届出を在する必要があります。

# 《停電することもある》

こんな業種のご需要家はとくに停電時に備えあらかじめ

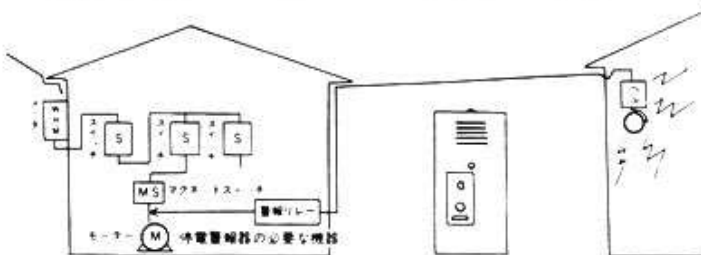
ご需要家自身が多大な経済的損失をこうむる業種

主な業種	関係業種		
	生育関係	食品	紡績
 <p>養魚（食用・観賞用） 養鶏、養豚 菌茸栽培など</p>	 <p>製パン、かまぼこ・ちくわ製造、魚市場、アイス クリーム卸・製造、集乳場、給食、米・たばこ乾燥、製茶、醸造</p>	 <p>織布、ねん糸 染色、機械</p>	 <p>生コンクリート、碎石 電熱釜、建材 レンズ製造</p>
<p>停電時の被害等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●酸素欠乏・換気停止、温度調節機能停止などによる育生物の死滅</li> <li>●密殖養魚、無窓養鶏など特に適切な停電対応策が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●加工異常による製品の不良化</li> <li>●製品または商品の腐敗、溶解、変形</li> </ul> <p>【上記のような腐敗、変質しやすい食品を多く扱うスーパーマーケット、商店等にあっても停電時の被害が予想されますので、あらかじめ対策をたてておいていただく必要があります】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●加工不良による製品不良化（糸切れ布キズ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生コンの固形化</li> <li>●再送電時の過負荷</li> <li>●レンズの固形化</li> </ul>

必要な被害防止対策

## ○停電警報装置の取付と監視体制の整備

停電したことを知らないでいると対策を講ずることができませんから「監視体制」を確立しておくことが必要です。「停電警報装置」はブザーまたはベルで停電を知らせます。



警報ブザーやベルは就寝時でも聞えるところに設置しましょう。

## ○予備エンジンの設置

養殖槽のエアレーションなど最小必要装置の動力を移動用エンジン発動機で駆動し、停電時中をしのぎます。



# 共同保守管理業務推進研修の報告

経済委員長 水谷 一九二

昭和54年度事業計画の中

でも最重視される共同保守管理業務の推進対策について、経済委員会で種々討議の結果、全国電工組のなかで第一位の契約実績のある石川県電工組他を研修することとなり経済委員を代表して福森、柴田委員と三名で出発した。

研修目標として同県の各組員を個別的に訪問し直接に、どのようにして現在の実績をあげたのか、その秘策、契約化までの経過、PR方法、需要家をどのように納得させ、契約に結びつけたかなどを具体的に研修したいと、まず七月二日石川県電工組事務局を訪問役員二氏に豊富な経験にもとづく具体例などの説明をうけた。

翌七月三日は組合のご紹介により金沢市内の四社の工務店を訪問、各社長から直接業務の内輪話など苦心談を聞き、その方法、手段など非常に参考となり深い

感銘を受けた。

七月四日は福井県電工組を訪問、役員、専任担当者の方々より説明をうけたがそれぞれ条件立場の相違はあるが一脈の共通点を感じた、両県ともにそれぞれの秘策を使つての推進内容も種々あつたが、今回の研修を通じて感じたことは業務

推進に各役員、責任者が非常に熱を入れていて、また組合としてその意義を深めるとともに社会的意識

の高揚に努力していることであつた。この共同保守管理業務は契約によつて当然

利益の生ずる事業であり新しい分野のため工事的な考えでなく「保守管理業」という発想転換で経営の分野拡大という永い将来に向つて努力することが大切であることを痛感した。

三重県電工組としても本年度目標として各組員が一件以上を目標に努力するよう推進をはかりたい。

## 厚生委員会会だより

### 第三者賠償責任保険について

会報第一〇号にてお知らせいたしました共済会事業の一つ、第三者賠償責任保険制度についてその後の事故分析等、厚生委員会として真剣に取り組んでおります

が残念ながら同じ種類の事故が依然として多発しております、別表のとおりの内容ですが、内容が分析して見

ますと余りにも単純な、専

門業者として恥ずべきミスが目立ちますので、同じ種類の事故防止のため参考として掲載しました。

なっておりますので未加入の組合員の方々の積極的な

加入についてよろしくお願

施工後は  
自主点検を  
確実に  
励行しよう

(53/11~54/7)

事故発生年月日	損害賠償額	事故内容
53.11.16	45,350	中型温水器新設工事の結線ミスによりテレビ他器具を燃損
53.12.6	33,500	照明器具取付中、釘がはねかえり、事柄のリアーガラスを破損
53.12.25	350,000	保冷罐内、天井配線工事を完了後、天井板が垂れ下りその補修費用
54.1.26	89,000	営業用ボイラーにユニオンの締付不良でモーターに水がかかり絶縁不良となりモーター焼損
54.2.14	12,500	資材を車輛より搬出中、停車中の車輛にぶれ損傷
54.2.24	66,500	配線工事中レンジフードを落下させガス台、側板を破損
54.3.8	16,400	水銀灯設置の基礎工事中、電話線に接触、損傷
54.3.11	495,000	コンプレッサの配線工事を完了後、中線が熱をもちメンスイッチが切れコンプレッサが止り、耐火ボードの不良品が発生
54.3.29	1,430,000	引込口増設張り替え工事により変流器一次側のネジが締付不良となり動力車相連転となり、うなぎ養殖のプロロー用モーターが停止し、うなぎが死損
54.3.31	149,098	オープンケースのファンモーターの配線工事をし、端子の締付不良でファンモーターが止り、ケース内の果物が凍損
54.4.4	118,300	テレビアンテナ取付工事の際キャタックが強風に倒れ乗用車を破損
54.5.4	12,540	夜間照明灯新設工事で機械による穴衝中、誤って地中埋設ケーブルを切断
54.6.5	50,000	新築配線工事中、天井板一部破損
54.6.10	49,000	安全器1回路増設工事で200Vを誤って通電しテレビ焼損
54.6.20	78,000	クーラー設置後引込線工事中結線ミスによりクーラーを焼損
54.6.28	75,620	配電盤改修工事中200V結線ミスによりクーラーを焼損
54.7.4	77,000	浴場用動力配線工事中誤って単相連転によるモーター焼損
54.7.11	15,954	ストッカー設置工事中結線ミスによりモーター焼損
54.7.13	178,490	配線工事中結線ミスによりカラーテレビ焼損
54.7.24	119,000	クーラー配線工事中結線ミスにより室内ユニット破損
計20件	3,461,252	

参考 54/7 保険金 3,461,252 =73.6% (損害率)  
54/7 総保険料 4,700,167

# 各地区だより

## 津・久居地区のうごき

6月4日 新加入審議会を  
開催し新加入二店を審議  
6月13日 津税務署国税調  
査官二名により工料の支  
払い方法その他について  
聴取調査があった。  
6月15日 役員会を開催し  
積算講習会、保守技術員  
認定講習会などについて  
打合せ  
6月22日 中部電力委託店  
の契約調印を引込店77店  
計器店16店が調印契約  
6月に県工組共済会へ新規  
加入23店を申込み  
7月7日 新加入審議会を  
開催し一店を審議  
7月7日 全組合員に対し  
て消防設備士試験、高圧  
技術者試験の受験方法につ  
いて周知  
7月11日 積算講習会が支  
部主催にて上野労働会館  
で開催、当地区から15名  
受講。

7月19日 新加入組合員お  
よび新委託店の合同総合  
教育訓練会を中電担当者  
技術委員会指導のもとに  
開催  
7月21・23日にわたり電気  
工事実技試験予備講習  
会を開催、受講者22名、  
結果は二十一一名合格した  
7月は技術委員会、厚生委  
員会、経営研修委員会をそ  
れぞれ開催し担当業務の実  
施について検討審議打合せ  
を行った。  
8月2日 保守技術員認定  
講習会が開催され当地区  
から九名受講  
8月7日 引込委託店の安  
全作業訓練会を対象店12  
の従業員に中電担当者お  
よび技術委員担当にて実  
施  
8月21日 名張地区から東  
海電友共済会加入につい  
て概要指導の要請があり

8月はこの  
他除外車輛の  
申請および新  
加入審議会も  
開催し、  
また中電の  
非常災害時に  
おける応援協  
力の連絡ルー  
トの本年度改  
訂を中電と打  
合せし、連絡  
表によって効  
果を掲げるこ  
とを確認した  
(連絡ルート  
表別掲のとおり)  
9月以降  
分は次号にて  
報告します。  
(津事務局)

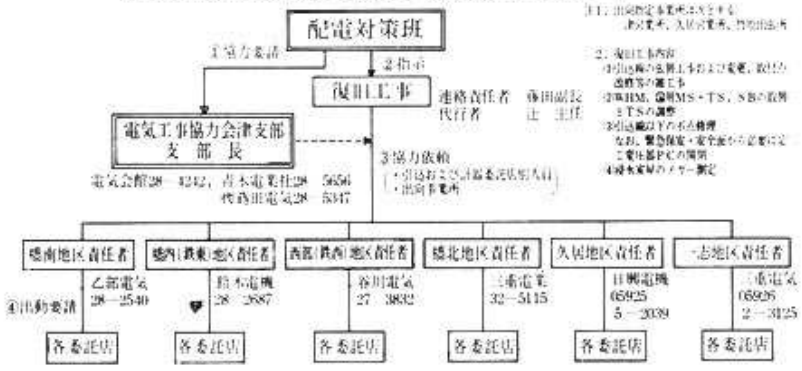
厚生担当役員および事務  
局員が出席指導した。  
8月29日 役員会を開催し  
定例打合会開催の議案、  
日時の審議および各委員  
会の実施計画について審  
議



四日市地区積算講習会

### 非常災害時における電気工事協会への応援協力依頼連絡ルート

昭和54年8月1日



## 電気工事費の 積算講習会を終えて

四日市支部長 伊東 直 作

私達がお客さんから電気  
工事を頼まれる際に幾らで  
やって貰えるかと聞かれる  
のが常であるが「よいもの  
を安く買いたい」と思うお  
客の心理に対して「ドンブ  
リ勘定や勘による」見積り  
が多い、つまるところ店の  
経費はおろか人件費すら充  
分出ない其の場限りの工事  
請負をやってはいけない。  
我々業者は規模こそ小さい  
が経営理念だけはしっかり  
と掲げさせて頂きました。

もってやろうと云う主旨か  
ら此の度三重県電工組は松  
下電器産業の協賛を得て全  
日電工連の北口技術副委員  
長を迎えて電気工事費の積  
算講習会を開催した訳で  
す。四日市支部は伊勢、松  
阪支部について去る七月十  
日午前十時から午後五時迄  
四日市電気会館で開催しま  
したが北口講師の情熱溢れ  
る講義に対し受講者九十八  
人の熱心な受講風景をここ  
に掲載させて頂きました。

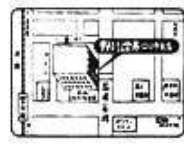
## 財産づくりは「野村」



中部電力をはじめ、国債、割引債、投資信託、  
株式など財産づくりの情報は、「野村」の窓口で...  
ベテランの係員がお持ちしています。

### 野村証券

四日市支店  
四日市本町四丁目1番1号  
1階(高野ビル内) (近三井)  
電話 四日市 (059) 52-2710



### 龜山

#### 昇柱訓練、引込電々継柱計器工事実務訓練及びゴム工具、測定器試験実施



引込電々継柱訓練

試験結果  
アース  
テスト  
の整備不  
良が22%  
あり、電  
池入替等  
を行った  
ら良好と

去る7月20日13時30分より、17時10分迄、中電龜山

営業所駐車場において、川本所長、高井配電課長以下3名の協力により、協力会会員32名参加し、安全推進会議の一環として、次の事項の実務訓練を実施した。

- 1、営業所駐車場にて、引込電々継柱し、2.6D V3、10M工事施工
  - 2、20/10WHM、20A SB、クーラ回路、電灯回路、内線工事施工
- 同時に試験室にて、ゴム工具（高圧ゴム手袋）の耐圧試験とメガー、アーステスター更正試験を中電立会のもとに実施した。
- 当日メガー21個、アーステスター18個。



計器工事訓練

不良はメガーで10%、アーステスター11%あり、電気保安の観点から、今後測定器管理には、自店で十分整備するようにしたいと思

った。

### 伊勢

#### 電気工事士実技試験準備講習会

7月17日より四日間、東海電気工事の中心をお借りし準備講習会を開催。（今回は伊勢地区で開催）受講者21名は、連日熱心に受講し、結果は全員合格でした

#### 安全講習会

日時 8月23日13時10分

#### 昭和54年度

#### 電気工事士試験終る

既報のとおり筆記試験終了後、実技試験に備えて、各支部では猛訓練中であつたが、7月24日〜7月25日鈴鹿市消防学校において実技試験が実施された。結果は（三重県発表）

願書受付数 一、四六七名  
筆記試験免除者 三〇八名  
合格者 三七九名  
実技試験対象者 六八七名

- 欠席者 三二名
- 受験者 六五五名
- 合格者 五一五名
- 願書受付合格率 三五%
- 実技試験合格率 七九%

（事務局）

場所 東海電気伊勢（管）  
参加者 店主はじめ従業員 員67名

内容  
1、伊勢警察署交通課係官より交通事故例、交通法令につき説明を受けたのち、質疑応答を実施した  
2、中部電力より、安全パトロールの中間報告があり、つづいて災害事例の説明を受けた。

#### 業法の改正を希む

イラン政変を境にして、世界経済は石油資源の配分について、非生産の国々が大きくなり、ゆれ動いている。そのトバッチリが、回りまわつて、電気工事業界も低迷を続けている。

官公需用も、民需も一向によくならない。過去第一次石油ショック前のあの華やかな景気は、もう二度と訪れないと思われてならない。

それなのに同業者は増えるばかりである。業法の新規登録の申請はあとをたたない。業法の欠陥はいくつ

があるように思う。

業法登録をとれば、その日からベンチ一丁、ドライパー一丁で電気工事の仕事が出来ると、電力会社も需用者代理として申込みがあれば組合加入がなくても受け付けを拒否することが出来ないし、その業者は値段は自分の一存で採算に合うか合うまいか頓着なしに安い単価です。組合加盟の既

存業者からみれば全く腹のたつ事であるが現実である。これは業法がザル法であるからとしか考えられない。この業法を一日も早く改正することが最大の急務であり、吾々組織（組合）内の業者が真剣に考えてその筋を動かす業法の改善に立ち向うべき時期と考えるものである。いかがなものでしょうか……

（一組合員）

## アリの知恵。

いま見たら日本人は、イラップのモーターがなくなるとしていませんか？  
アリはなくなるとしていませんか？



#### 資源がなくても知恵がある日本。

今頃は10年後には、資源国は資源が枯渇をきたし、といわれています。そうなる前に日本の資源を備へておくことが、日本の知恵と見なされています。資源がなくなるとしていませんか？

中部電力